

尚徳

学校便り「尚徳」 11月号
第472号

鳥取大学附属小学校
平成23年11月16日

<http://www.fuzoku.tottori-u.ac.jp/~fusho/>

題字「尚徳」は、住川英明教授（地域学部）



鳥取柳を救え

副教頭 鈴木 英之

皆さんは「鳥取柳」をご存じですか。私が小さいころ、古い鳥取駅の前に、見上げるほど大きな枝垂れ柳の木がありました。それが、山陰線の高架工事を受け、駅舎も新しくされたとき、なくなりました。つい最近、駅前の駐車場の跡地に新しく小ぶりの枝垂れ柳が植えられ、約40年ぶりに2代目鳥取柳として復活しました。鳥取の人は柳が好きなんですね。これから初代鳥取柳の数奇な運命のお話をします。

9年前、附属小学校で総合的な学習の時間を始めたとき、私が担任をしていた3年生では、何をテーマにしようか子どもたちと話し合った結果、もっとも身近な尚徳の森の歴史や植物、森に来る鳥や動物について調べようということになりました。

そのころの尚徳の森は中庭からすぐに行け、休憩時間になると、遊具で遊ぶ子どもでいっぱいでした。休憩が終わってもなかなか帰ってこないの、探しに行くと、崖の下に秘密基地を夢中になって作っていたなんてこともありました。

さて、その尚徳の森の入り口に、大きな柳の木がありました。しかし、幹には大きな空洞があり、子どもが揺すってもぐらぐらするくらい弱っていました。倒れないように添え木を当て、何でここに柳が植えられたのだろうと調べました。すると、何とあの鳥取柳だとわかりました。駅前から鳥大の正門横に植え替えられ、門の拡張工事で、この尚徳の森に植え替えられたとわかりました。いくら生命力の強い柳でも、樹齢が高いのに、人の都合で、季節も関係なしに2回も植え替えられ、水気の少ない尚徳の森に植えられて、弱っていたのでした。

この鳥取柳を救おうと子どもたちは立ち上がりま

した。鳥大農学部で植物が専門の児玉先生に柳を見ていただきましたが、「柳はもう助からないだろう。強い風が吹くと倒れてしまい危険。」と言われました。子どもたちは泣きました。夏休みも、柳が枯れないようにと水やりをして頑張ってきたからです。「救う方法はないのですか。」と尋ねると、「挿し木をして増やすしかない。でも、木自体が弱っているから挿し木がうまくいくかわからない。」と言われました。挿し木に適した土や挿し木の方法を教わり、中庭の日陰にプランターで挿し木をしました。半分以上枯れましたが、6本ぐらい根が出てきました。それらを秋に学級園に植え替えました。元の鳥取柳は、秋の台風で倒れてしまいましたが、子どもたちは寿命だと納得しました。学級園の鳥取柳の子孫6本が30cmぐらいに大きくなったところで、次の年度になり、私は他校へ異動となりました。

学校が変わって半年ぐらいたったとき、柳がどうなったのか子どもたちに聞きました。すると、クリーン活動で間違えて切られてしまったと言いくそうに答えました。ああ、ちゃんと看板を立てて、「柳を育てています。」と表示しとけばよかったと後悔しました。

それから8年たった今年、天野先生から「いいことを教えましょうか。鳥取柳は生きていますよ。ミニ湖山池の横に、もう切られないように植え替えたんですよ。」と聞きました。走って池の横に行くと、背は低いのですが、たくさん枝をつけた枝垂れ柳がありました。柳は森より、池の横の方がよかったですなと思いました。この柳を救うために頑張った子どもたち（もう高3と中3です。）と協力してくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

【子育て講演会】



10月21日の学習参観日に市教育委員会主催の子育て講演会を行いました。元校長先生で、ふれあい会館館長中林義一先生を講師にお招きし、「家庭と学校の役割分担」と題して講演をしていただきました。授業者、校

長、幼稚園長、社会教育の推進者等々豊富な経験に裏打ちされた深いお話を、ユーモアを交えながら巧みな話術で展開され、会場は和やかな雰囲気になりました。その中で「子どもは言葉で育つ」「会話のあふれる家庭に」「子どもの自主性を大切に」等、子育てのキーワードをたくさん提示していただきました。保護者の皆様のたくさんのご参加ありがとうございました。

【ワールドタイム】

本校では、毎週水曜日の朝自習の15分間をワールドタイムと位置づけ、英語や韓国語などの外国語活動に取り組んでいます。ワールド委員会の24人のメ

ンバーが、1年生から6年生までの各クラスを2人ずつで担当し、活動内容の作成と進行をしています。低学年は、英語の歌やゲームや外国のお話の読み聞かせ、中学年は外国語のDVDで簡単なゲームや歌、高学年は英語ゲームやワークシートクイズなど、学年に応じた内容を工夫しています。

全校のみんなが外国語に親しみ楽しく活動する時間になっています。今月は、休憩時間を使って、委員会主体のハロウィンパーティーを予定しています。



子どもの広場



【社会科見学】

3年生になり、ちいきの学習が始まりました。今年、「発見！湖山池」をテーマに、湖山池について詳しく、深く調べています。そこで、もっと湖山池に詳しくなろうということで、湖山池探検に出かけました。

最初は、湖山池情報プラザでアドバイザーの遠藤さんにいろいろな湖山池についてのお話を聞いたり、山陰ジオパークの展示物を見せられたりしました。その後、青島の展望台に上り、湖山池を360度眺めました。

今回の社会見学を、今後のちいきや社会科の学習に役立てたいと思います。

【心に響く音色を〜鳥取市連合音楽会】

連合音楽会をご存じですか。鳥取市の小学校が3グループに分けられ、1校につき、3年に一度、とりぎん文化センター梨花ホールでの音楽演奏の機会が得られるというものです。今年度は附属小学校が出演できる年で、6年生が学校の代表として出演しました。

和への願いを込めて歌ったU & I、リズムののって楽しく演奏したルパン三世。この日までに一人一人が目標をもって練習に取り組んできました。75人が集中し、心を一つに合わせて、これまでで一番の発表をすることができました。当日に至るまでの個々の努力、みんなが一つになるということ、多くの学びをこれからの学校生活に、人生に、少しでも生かしていつてくれることを期待しています。3年後、次の出演はあなたの学年かもしれませんね。



【全校一斉造形遊び】

11月9日、2・3校時に全校一斉に造形遊びを行いました。造形遊びは、図画工作の学習の1つです。個々に作品をつくるのではなく、友だちと協力しながら、身近な材料、広い場所などを生かして取り組むため、ダイナミックな活動となります。今年、ひも、切った新聞紙、画用紙をつなげたり、カラービニール袋を切り開い



て大きな袋をつくったりして遊ぶなど、校庭や体育館などの広い場所を使って活動しました。

【なかよし交流会】



11月10日、尚徳の森で1年生と幼稚園とのなかよし交流会がありました。

秋がいっぱいの尚徳の森で、いろいろな遊びを考え、みんなで楽しく遊びました。長い竹を使って基地づくりをしたり、葉っぱのお布団の上で寝ころんだり、上に投げてひらひら落ちてくる葉っぱを楽しくも一緒に食べました。3回目給食もあつて、お互いに声を掛け合い、相手のおともも気遣いながら遊ぶ姿が見られました。1年生も年長さんも「楽しかった！」と満足そうに笑顔がたっぷりの交流会になりました。



みなさん、あわてないで

本田 暢彦

保護者のみなさんは車の運転をさ
れませんか。
おそらく、ほとんどのの方が車の免
許を持ってもらえると思います。
私も車が好きで、以前はマフラー
を太くしたり、エアロを組んでみた
り、タイヤのホイールに凝ってみた
りしたこともありました。

ところで、みなさんは黄色信号に
出会ったときの運転はどうすればよ
いかご存じですよ。

道路交通法施工令第2条に信号の
灯火についての記述があります。そ
れによると、「車両及び路面電車（以
下この表において「車両等」という。）
は、停止位置をこえて進行してはな
らないこと。ただし、黄色の灯火の
信号が表示された時において当該停
止位置に近接しているため安全に停
止することができない場合を除く。」
とあります。

ここで、私が言いたいのは、最近
赤信号になっても平気で交差点に車
が進入してくる車が多いなど感じて
いるということですよ。

もちろん、自分も時々入ってしま
ってごめんなさいという場面はあり
ますが、明らかに赤なのに突っ込ん
でくる車はどうなのかって思っていま
す。

そんなに慌てても、言うほど到着
は変わりませんよ。

